

# 学術資料調査研究推進室の活動

平山 忠一

平成11年度に設置した学術資料調査研究推進室の活動状況及び今後の予定を簡単にご報告します。

## 1. 平成11年度活動報告

### (1) 推進体制の整備

- ・組織 推進室要項を制定し、5名の室員を発令、体制整備を行った。  
開室式(オープンセレモニー)を開催した。
- ・施設 図書館内に推進室を設置、パソコン、書架、机などを整備した。

### (2) テーマ別の活動状況

#### <水俣病関係学術資料の整理収集>

- ・医学及び自然科学分野については、我が国が国際的に立ち後れていると言われるメチル水銀中毒に関する研究の分野において、欧米の研究成果等を系統的に収集することが大変重要となっている。11年度は、内外の基本文献及び基本的なデータを含む政府レポートの一部について収集を行った。また、熊本大学が所有する「水俣病患者」の脳の標本、カルテ、所見などの分析・保存の方策及び今後の研究への活用について検討した。
- ・社会科学関係については、水俣病事件に関する裁判資料、国・県・市などの行政資料、不知火海漁業史・環不知火海地域史に関する資料など、多種多様で膨大な量の種類の資料が存在する。それらのうち水俣病研究会で収集された資料を中心に、図書館内へ設置した「推進室」へ集め、調査・分析を開始した。今後、学術的な資料を系統的に収集してゆく上で、まずは検索機能に優れた目録データベースの構築が急がれるため、データベース作成の基本方針等について関係者の意見をまとめつつ資料類の分析と入力作業に取りかかった。

#### <熊本大学が所蔵する古文書の分析、研究>

- ・国指定重要文化財「阿蘇家文書」を画像入力し、プロトタイプとしてインターネット上で公開中である。
- ・11年度熊本大学特殊資料展(天草・島原の乱)の電子図録(解説付き)を作成しインターネットへ公開した。

#### <ラフカディオ・ハーンコレクションのデータベース化の研究>

- ・科研費(研究成果公開促進費)：島根大学、富山大学、熊本大学による共同研究の配分を受け、主要著作物の全文データベース化を分担した。

## 2. 今後の展開

### (1) 中期的計画の概要

#### <水俣病関係>

- ・「水俣病」患者の医学的データの整理とそのデータベース化を目指す。
  - 1) カルテ、臓器標本の整理と資料化。
  - 2) 現在、生存しておられる患者の医学的所見(疫学所見、精神神経学的所見、神経内科的所見、さまざまな医療機器によって解析された結果(核磁気共鳴、CT、脳波)の整理と資料化。

また、引き続きメチル水銀中毒の研究に必要な参考図書、論文、情報を集めるとともにそれらの目録データベースを作成する。中毒、毒物関連の教科書、メチル水銀、水銀に関する文献、メチル水銀中毒によって傷害される神経系に関する図書、環境汚染に関する資料などを対象とする。

- ・水俣病事件に関する基礎的な資料を収集し、そ

れを系統的に編集し叢書としてまとめる。

- ・推進室の成果をWWWなどの電子的な手段により体系的かつ効果的に情報発信するためのシステムを構築する。文献情報、所在情報とのリンクも図る。

#### <古文書>

- ・肥後藩政資料「北岡文庫」の所有者である(財)永青文庫と協議し、電子化対象資料の拡大を図る。

#### <ハーン>

- ・科研費(島根大学、富山大学、熊本大学)の共同研究を国際的な研究活動へ発展させるためのデータベースの充実を図る。

### (2)課題

#### <水俣病関係>

##### 1)資料センターあるいは研究センター化構想

- ・外国の研究者がサバティカル(sabbatical term)で一定期間滞在して関連の資料などを利用できるセンター的機能の確立
- ・標本など(書籍、文献の形態でないもの)の収集、展示、保存の必要性
- ・叢書などの研究成果の継続的な編集出版

##### 2)予算基盤の確立

- ・調査研究を継続的に展開するための予算確保

##### 3)収集情報の公開とデータの取り扱い

- ・情報発信の手段、方法
- ・データの種別、特徴、データ作成方法、リンクの方法

#### <古文書>

- ・古文書担当図書館員の育成

#### <ハーン>

- ・科研費(島根大学、富山大学、熊本大学)による成果の継続的な展開。

### 3. 12年度実施計画

#### <水俣病関係>

- (1)医学関係テキストデータの入力
- (2)社会科学関係資料(コレクション)の収集・整理・データ入力
- (3)叢書の編纂
- (4)関連図書及び学術文献の調査と収集、新刊書、古書については購入、寄贈依頼を行う。学術論文については、別刷り請求または文献複写依頼を行う。
- (5)文献目録の電子化
- (6)利用可能な既存データ(カード、ファイルメーカ)からのデータ移行
- (7)マスコミ関係情報(新聞記事、放送)の収集
- (8)2001年開催第6回水銀国際会議に向けた活動

#### <古文書>

- ・高精細の画像作成及び提供に関する調査研究を行う。
- ・12年度特殊資料展の電子図録を作成し公開する。

#### <ハーン>

- ・科研費による2年目の研究へ参加し、ハーン後期著作物の全文データベース化を行う。11年度作成データと合わせて公開する。
- ・ハーン生誕150年記念事業に呼応した活動を検討する。

( ひらやま ちゅういち  
学術資料調査研究推進室長・附属図書館長 )